

# ますます学生のために 学生情報センター 吉浦勝博社長インタビュー

2019年7月20日 毎日新聞@大学

「学生支援を通じて微力ながら福岡での使命に尽力できれば」

学生マンションの開発、募集、管理運営をする学生情報センター（ナジック、本社・京都市）の吉浦勝博社長（59）は、「留学生を含め、学生生活をトータルに支援したい」と話す。



学生情報センターの吉浦勝博社長

43年前に創業、仙台から福岡まで全国11都府県で事業を展開している。2003年開設の福岡支社では現在3250室を管理する。アジアの玄関口である福岡は、留学生を含めた学生数が全国的にも多い。特に九州大のキャンパス移転完了で「今後さらに賃貸物件のニーズが高まる」と更なる開発を進めている。また、キャリア支援でも、全国初の事業である福岡市の奨学金付き留学生インターンシップの運営も担う。

前職の東急ハンズ時代から九州での縁も深く、災害が続いた九州への思いは人一倍熱い。「福岡でも『ますます学生のために』をモットーに全社挙げて努力していきたい」